

講師・パネリスト 紹介

敬称略

□基調講演

講師

原 純一（はら・じゅんいち）

大阪市立総合医療センター副院長・小児血液腫瘍科。

元厚生労働省「がん対策推進協議会」委員・小児がん部会委員長。

小児血液腫瘍の専門家であり、NPO 法人日本小児脳腫瘍コンソーシアム理事長、

NPO 法人エスビューロー理事、NPO 法人シャイン・オン・キッズ理事を務める。

一般社団法人こどものホスピスプロジェクト 副理事長。

□パネルディスカッション

パネルコーディネーター

水谷 綾（みずたに・あや）

TSURUMI こどもホスピス事務局長。NPO 運営コンサルに取り組んでいた折に、CHP の取り組みに出会い、地域社会で子どもが大切にされるコミュニティづくりに共感し関わることに。開業とともに、現職に。

パネリスト①

原 純一（はら・じゅんいち）

大阪市立総合医療センター副院長・小児血液腫瘍科。2005 年より現施設、厚労省のがん対策推進協議会委員として小児がん拠点病院の制度構築に関わる中で、医療者の立場から様々な活動や発信をしている。

パネリスト②

高場 秀樹（たかば・ひでき）

TSURUMI こどもホスピス代表理事。重い病気をもつ子どもの親として、病気をもつ子どもや家族が気軽に集い安らげる場の必要性を感じ、当法人を結成した。（株）ワン・トゥー・テン・ホールディングス代表取締役専務。

パネリスト③

北東恭子（きたひがし・きょうこ）

娘が幼少期に脳腫瘍、小学 5 年生時に白血病を発症。入院時に子どものホスピスプロジェクトに出会い、TSURUMI こどもホスピス開設前からプログラムに関わる。現在、TSURUMI こどもホスピスメンバー。

パネリスト④

前田 優貴子（まえだ ゆきこ）

大阪南ローターアクト会長

初めてこどもホスピスに係り、問題意識に直面した実感をもつはず。

パネリスト⑤

中村 剛（なかむら たけし）

大阪南ロータリークラブ 社会奉仕担当理事

本年度大阪南ロータリークラブの社会奉仕事業においてTURUMI こどもホスピスに係り、直接体験をしている。